

# 熊本地震 震災ミュージアム

# KIOKU

— きおく —

## 2023年7月15日(土) グランドオープン



### 熊本地震 震災ミュージアム KIOKU(体験・展示施設) とは

観測史上初となる28時間のうちに2度の震度7の揺れが発生した平成28年(2016年)熊本地震。熊本県内では災害関連死を含めて270名以上の死者、20万棟近い建物の被災、阿蘇大橋をはじめとする交通インフラや水・電気などのライフラインの寸断といった、甚大な被害がありました。

熊本県では、被災市町村と連携して、地震の記憶や経験、教訓を確実に後世に伝承し、今後いつどこで起こるか分からない大規模地震災害に備えるため、県内に点在する震災遺構等を活用した回廊形式のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」を整備しています。

今回その中核拠点として、南阿蘇村の旧東海大学阿蘇キャンパス内に新たに体験・展示施設が完成します。展示やシアター、震災遺構、各種プログラムを通して、熊本地震の被災の様子、その発生メカニズム、そして防災について学び、人と自然との共生のあり方について考えていただく内容です。施設のシンボルネーム「KIOKU(きおく)」は一般公募から選ばれ、熊本地震を追体験し、目にしたものを記憶して、未来へ語り継がれるようにという願いが込められています。また、くまもとアートポリスプロジェクトを通して設計された柔らかな曲線の屋根が特徴的な建物もKIOKUの魅力の一つです。



熊本地震 震災ミュージアム  
Kumamoto Earthquake Museum

↓最新情報はコチラ↓



<https://kumamotojishin-museum.com/>



熊本地震 震災ミュージアム KIOKU



展示室1 熊本地震の震災遺物 / その時シアター



展示室2 地震のメカニズムと自然の恵み



展示室3 熊本の復興の姿と魅力



企画・交流ラウンジ



©尾田栄一郎

併設 震災遺構 旧東海大学阿蘇キャンパス (地表地震断層、1号館建物) / ワンピースロビン像

- 施設所在 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 5343-1 (旧東海大学阿蘇キャンパス内)
- 施設概要 展示室1～3、企画・交流ラウンジ、芝生広場
- 開館時間 09:00～17:00 (最終入館 16:30) ※見学時間目安: 60～90分
- 休館日 毎週月曜 (祝日の場合は翌平日が休館)・年末年始
- 駐車場 約100台 (大型バス6台含む)
- 観覧料 大人500円 / 県外中高生: 400円 / 県外小学生: 300円  
※県内小中高生は無料
- 備考 団体でお越しの場合は、事前にお申し込みをお願いします

